



伊深っ子

伊深小 学校だより R6,2,26

FROM-0 歳プラン2推進校

『明るく笑顔あふれる伊深っ子』

～学び合う 思いやる やりぬく～

・ ・ 子どもたちの目が輝く時 ～積算温度って～ ・ ・

・・・81名だからできる・・・

今年も実現できた全校遠足、行先は名古屋市科学館を選びました。

車窓から名古屋市科学館のシンボル世界最大のプラネタリウムの外観が目に入ると

「おー、すごい。大きい」

という子どもたちの歓声が車中に広がりました。そして、科学館に入館するや否や子どもたちの目の輝きが一層高まるのです。どれでもいいから「常設展示に触れてみたい、どんなことが起こるか知りたい」という子どもたちの知的欲求を感じました。せっかくだから、日常できない体験だから時間の許す限り「触れてみる」

ってとても大切なことですね。子どもたちの興味や関心はちょっとした経験で高まりますから。81名の小規模学校だからできる体験学習でした。



・・・積算温度って・・・

ところで「積算温度」という言葉を耳にされたことがありますか。積算温度は生物界で使うことが多く、野菜作りにおいても参考とされます。積算温度とは、1日ごとその日の平均気温が積み上げられていくことをいいます。例えば、トマトは開花後、1100～1200℃の積算温度に達すると収穫できると考えられています。それでは、小学生にとっての「積算温度」とは何かを考えてみました。



先日、2年生の授業を参観するために教室に入りました。すると、全員が起立し、資料をもって一人一人が資料の説明をしていました。ある発表のために個々に練習している場面であることは、想像できました。10歳にも満たない子どもたちが、自分の思いを発表するには、「伝えたい内容、言語、聞いてくださる聴衆、発表し切った時の達成感」等が必要です。4拍子そろったとき、子どもたちから笑顔が表出され、ほんのちょび

っとの成長につながっていきます。小学生にとっての「生物界の積算温度」は、「毎日のつみかさねの連続」だと私は考えています。

どの子にとっても、この1年間の日々の小さなつみかさねが表出されるこの時期、ちょっとした成長に喜び、子どもたちを褒めてあげたいものです。